

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		都市公園総括型管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	1	人々が安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	辻 賢一郎							
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	吉村 幸一							
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	都市計画班	(内線)	2247							
予算科目	会計	1	款	8	項	4	目	2	事業連番	10139	法令根拠	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 S56 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)											

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	都市公園(弁天山公園・妙泉寺公園・中央運動公園)の管理について、市シルバー人材センター等に管理を委託し、草刈、樹木の剪定、消毒、清掃、点検を総括的に一括して管理を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	11需用費 12役務費 13委託料
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
シルバー人材センターと管理内容の打合せを行い契約。 委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い事務	シルバー人材センターと管理内容の打合せを行い契約。 委託費積算・委託者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い事務
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 維持管理を行った公園	箇所 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
公園利用者	⇒ ア 公園数 箇所
⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
適正に管理できる 安全快適に利用できる	⇒ ア 苦情・要望数 件
⇒ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 苦情要望の件数は管理状況を示すバロメータとしても有意義であると考えたため	

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
④ 活動指標	ア	箇所	3	3	3	3	3	3		
	イ									
⑤ 対象指標	ア	箇所	142	148	151	154	154	157		
	イ									
⑥ 成果指標	ア	件	10	8	7	7	6	5		
	イ									
投資 事業費 入 量	財源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	5,905	5,517	6,042	5,551	7,341	7,341	
	(A) 事業費計		千円	5,905	5,517	6,042	5,551	7,341	7,341	0
	(A)のうち指定経費		千円							
	(A)のうち時間外、特勤		千円							
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	200	360	350	345	350	350	
		(B)人件費計	千円	794	1,440	1,393	1,373	1,393	1,393	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,699	6,957	7,435	6,924	8,734	8,734	0	

総トータルコスト	
全体計画	
～	年度

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	都市公園総括型管理事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE)
*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

弁天山公園・妙泉寺公園・中央運動公園の管理について、シルバー人材センター・地域住民に管理を委託し行った

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善(有効性改善)

☐ 事業のやり方改善(効率性改善)

☐ 事業のやり方改善(公平性改善)

☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策